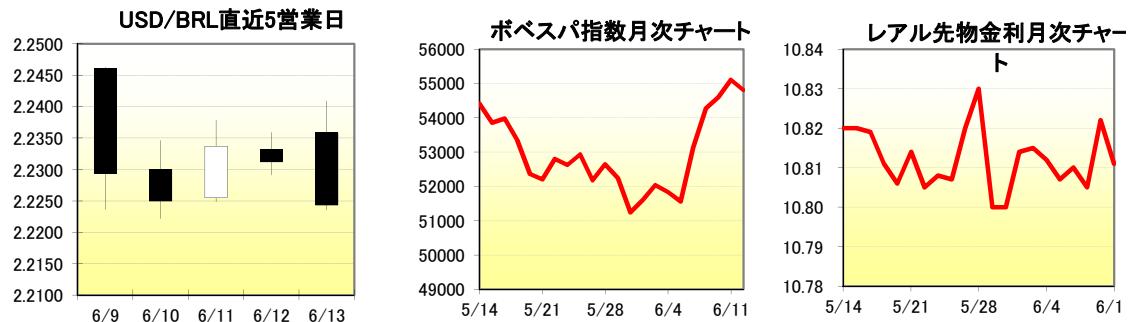


Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

1. マーケット・レート

			6月6日	6月9日	6月10日	6月11日	6月13日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.2470	2.2290	2.2250	2.2340	2.2240	-0.0100
	USD/YEN	Spot	102.48	102.52	102.35	102.00	102.04	+0.0400
	EUR/USD	Spot	1.3643	1.3592	1.3547	1.3534	1.3547	+0.0013
	BRL/YEN	Spot	45.60	45.99	46.00	45.66	45.88	+0.2200
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0.84	0.84	0.85	0.83	0.87	+0.0340
		1Year(p.a.)	1.09	1.08	1.09	1.06	1.10	+0.0410
Stock	Real Interest	6MTH(p.a.)	10.78	10.79	10.82	10.81	10.79	-0.0210
		1Year(p.a.)	10.92	10.99	11.01	10.99	10.92	-0.0637
Stock	Bovespa		53,129	54,273	54,604	55,102	54,807	-295.80
Bond	CDS Brazil 5y		134.00	134.20	135.27	136.43	140.67	+4.2400
	Global 40		112.100	112.125	112.425	112.100	112.150	+0.0500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィスまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
経済活動(前月比)	0.06%	0.12%	0.05%	なし
経済活動(前年比)	-1.85%	-2.29%	0.28%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は週間高値となる U\$1=R\$2.2460 で寄り付いた。
- 前週末引け後にブラジル中銀が 6 月末で期限を迎える為替介入プログラムを継続すると発表したことを受け、レアルは週初から買われる展開となった。レアルは 2.22 台半ばまで買われたが、ワールドカップ開幕を控えて様子見一頭が強く、買い一巡後は上値を追う動きは限定的となった。
- インフレ指数が予想を大きく下回ったことやボベスパ指数が昨年 10 月以来の高値を更新したことを背景に、週次かけてレアルは週間高値となる U\$1=R\$2.2230 をつけた。
- その後はワールドカップ開幕日のサンパウロ祝日を挟んで薄商いが続いたが、開幕日翌日は寄り付きからレアルが優勢となった。米経済指標が予想より弱く、リスクオフの動きから新興国通貨が売られ、レアルは 2.24 丁度まで売られた。
- しかし、その後は週末を控えたポジション調整で再びレアル買いが強まり、結局 U\$1=R\$2.2240 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
6/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jun	-0.56%	0.13%
6/16	FGV CPI IPC-S	Jun-15	0.41%	0.46%
6/16	CNI産業信頼感	Jun	--	48.0
6/16	貿易収支(週次)	Jun-15	--	\$726M
6/16	税収	May	90100M	105884M
6/16	登録雇用創出合計	May	80788	105384
6/18	FIPE CPI-週次	Jun-15	0.21%	0.22%
6/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jun	-0.59%	-0.04%
6/18	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Jun	0.40%	0.58%
6/18	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Jun	6.33%	6.31%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.21—2.25

来週も引き続きワールドカップ開催期間で半休や祝日が多く、市場参加者が限定的となることが予想される。為替市場はリクイディティーの低下から荒い値動きが想定される。しかし、来週中にブラジルサイドで大きな材料が出るとは考にくく、値は飛んでも結局は直近のレンジ内取引に終始しそうだ。中銀によるリアル安抑制のための為替介入プログラムが強く意識されており、モメンタムはリアル高方向に向いていると見られる。

主要なイベントとしては 17 日から 18 日に開催される米国の FOMC があるが、特段のサプライズはないと予想する 100 億ドルの QE 縮小とフォワードガイダンスの継続が示されると予想する。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようにお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。